

さあ磐田と静岡決戦



nikkansports.com インターネット号外

11月23日  
火曜日  
1999年  
(平成11年)  
PM 9:00

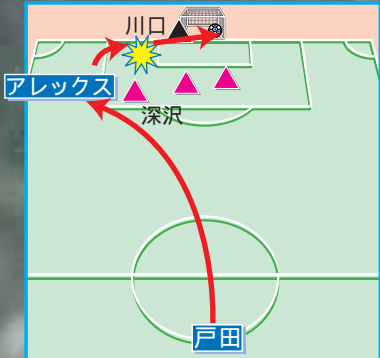
日刊スポーツ  
NIKKAN SPORTS

チーム崩壊の危機乗り越え悲願達成

# V初清水

創設8年目の美酒!

アレックス先制 安永勝ち越しゴール



清水前半1分の得点...DF戸田からのロングパスをアレックスが左サイドで受け、横浜DF深沢をかわしてゴール前へ詰め、左足アウトでゴール



清水前半23分の得点...アレックスのセンターリングのクリアボールは伊東の目の前に。伊東は安永とワンツールのパスを出す、安永はそのまま振り向き、ゴール左スミへ左足で2点目のゴール

試合終了と同時に先制点を挙げたアレックスを中心に清水イレブンは大喜び、左上はチャンピオンシップ出場権を高くと上げ、沢登主将

なお、12月4日、11日に日本一をかけたチャンピオンシップを同じ静岡の磐田と争った。

Jリーグ2ndステージ第14節、清水が横浜を2-1で破り、悲願のステージ制覇を果たした。勝てば優勝で迎えたアウェイの横浜国際での横浜戦。開始早々の前半1分、アレックスが左サイドからDFを振り切り先制のゴール。しかし同8分には横浜にCKからヘディングを三浦に決められ同点に追いつかれた。森岡を故陣で欠き苦しい戦いを強いられたが、元横浜Mの安永が同23分に振り向きざまのシュートを決め再びリード。この1点を守り抜いた。2年前には崩壊の危機にあったチームが、創設8年目にして見事初優勝を飾った。

23日15時1分	横浜国際総合競技場	観衆44,028
横浜	1 { 1 - 2 } 2	清水
前半1分【清】戸	アレックス	L 10m
前半8分【横】三	浦柳	H 4m
前半23分【清】伊	東安永	L 13m

購読お申し込みは24時間0120 - 81 - 4356